

水戸病院だより

Mito Hospital News



第91号

2022年1月(新春号)

- 健康コラム「掃除でダイエット」
- 暮らしに役立つ情報「冬場の閉塞空間の換気方法」
- ちょっと教えて「かかりつけ医とは？」



医局レポート 新型コロナから見る免疫の働き

PICK UP!

発熱専用外来

当院では一般患者様と別に発熱患者と分けて外来診療を行っております。

水戸病院内覧会の集合写真

CONTENTS | 目次

- P2 新年のご挨拶
- P3 医局レポート「新型コロナから見る免疫の働き」
- P4 病院内覧会を行いました
- P5 健康コラム「掃除でダイエット」～家をキレイにしながら運動不足解消～
- P6 暮らしに役立つ情報「冬場の閉塞空間の換気方法」
- P7 防災シリーズ(第1回:住まいの減災)・みちくさ“皿山公園”
- P8 ちょっと教えて「かかりつけ医とは？」
- P9 バトンタッチ放談・おばあちゃんの知恵袋
- P10 外来診療担当案内・施設のご案内

正信会 理念

病める人に寄り添った質の高い保健・医療・介護の提供

基本方針

- 地域に根差した信頼される施設づくりに励みます
- 思いやりの心を大切にすべての人の尊厳を守ります
- 新しい知識・技術を求め日々研鑽に努めます

TAKE FREE ご自由にお持ち帰り下さい

ご挨拶



医療法人社団正信会
理事長

増田 住博

『新年のご挨拶を申し上げます』

新年あけましておめでとうございます。

今年は正信会にとってこれ迄とは違った新しい気持ちで新年を迎えることが出来ました。地域に根差した、病める人に寄り添った医療・介護の提供が出来ますよう邁進しますのでよろしくお祈りします。

昨年1月には病院建て替え工事の新築部門がほぼ完成し、入院患者様には旧館より全員転床して頂きました。しかし、その後新型コロナウイルス感染によるクラスターが発生して大変苦勞しました。感染予防には十分注意を払っていた積りですが当院を御利用されています。皆様方及び地域の皆様方に御心配、御迷惑をお掛けしたこと心から深謝申し上げます。

ところで、国内の感染状況は昨年の4月にデルタ株が発見されて8月に猛威を振るっていましたが、8月下旬から急激に減少していました。しかし、世界全体では10月中旬以降再び増加に転じています。特に旧ソ連諸国やイギリス・ドイツではワクチン接種の進展に合わせ、社会・経済活動が広く再開。感染拡大防止に重要な3密が守られておらずマスクなしでイベントに参加している人が多く、ドイツでは1日の新規感染者が7万人を超えています。又、韓国では日本よりワクチン2回接種率が約80%超と高いにもかかわらず高齢者間で「ブレークスルー感染」が発生しています。日本では国民の行動制限の大幅な緩和策として「ワクチン・検査パッケージ制度」を導入する予定で、対象となるのは主に「飲食」「イベント」「移動」の3つに関する規制緩和を想定していました。しかし、南アフリカで新しい変異株オミクロンが発見され再び入国時の規制が強化されました。オミクロン株はヨーロッパ各地に拡散し、日本国内でも陽性者が見つかっています。現在のところオミクロン株は感染する力が過去の変異株より強まっている可能性や、「ブレークスルー感染」があるので3回目接種を着実に進めることが有効のようです。海外では3回目の接種で、発症や感染を防ぐ効果が期待できるデータも得られています。

しかし、英国ではオミクロン株に感染して亡くなった事例が報告されています。今のワクチンは中国で報告された最初の株をもとに作られているのでオミクロン株に対してどの程度の効果があるのか疑念もあります。ヨーロッパではワクチン接種義務化の動きを進めています。ワクチン接種歴などの情報と顔写真を事前に登録しておけば「顔パス」で済ませるシステムが開発され観光施設やイベント会場などの活用が想定されています。寒さが厳しくなることから、冬場の感染拡大への警戒強化が求められています。3密を避けマスク着用、手洗いを守ることが基本です。第6波感染予防の水際作戦に万全を期してほしいと思います。

今年が皆様にとってより良き年になりますことを御祈念申し上げます。

PICK
UP!

新型コロナから見る免疫の働き

この水戸病院便りは、新年1月発行ですから、その頃オミクロン株がどうなっているか、心配しながら12月に原稿を書いています。

さて、新型コロナのようなウイルス感染に対し、人体はどのように戦うのでしょうか。これが、免疫と呼ばれる高度なシステムです。免疫は、大きく分けて、自然免疫と獲得免疫があります。まず、最初にウイルスの相手をするのは、マクロファージという細胞です。ウイルス、細菌に限らず、死んだ細胞や吸い込んだ異物など、何でも食べます。

次に好中球と呼ばれる白血球がありますが、これは主に細菌に対して働くので、ここでは省略。NK細胞と呼ばれるリンパ球の一種は、ウイルスに感染された細胞を殺してしまう働きをします。ナチュラルキラー細胞と呼ばれる所以です。これらの自然免疫は、侵入してきたウイルスの正体がまだわからない早い時期に働きます。自分は、人生で1回もインフルエンザにかかったことがないと言われる方がいらっしゃいますが、こういう方は、この自然免疫が強い人かもしれません。

もう一つの、獲得免疫と言われるものは、侵入者の正体を特定し、より効率よく戦うシステムです。まず、樹状細胞という細胞が、ウイルスをキャッチしてこの情報を次に伝える役割をします。この情報を受け取るのが、T細胞というリンパ球の一種。これが司令塔となって、B細胞に伝達し、抗体を作らせます。抗体は、ロックオン機能のついたミサイルのようなもので、ウイルスを個別に攻撃します。大量生産されます。ワクチンによっても、同様の抗体が作られます。抗体療法というのも一時話題となりましたね。別のT細胞に伝達が行くと、キラーT細胞というものに変化し、ウイルスに感染された細胞を攻撃します。

これら、免疫系全てで、細胞間の伝達にはサイトカインと言われる物質が使われます。サイトカインはとても種類が多く、なかなか覚えきれません。このサイトカインは、通常はごく微量、短時間放出されるのですが、免疫系がパニック状態になると、様々な免疫細胞からサイトカインが際限なく放出され、サイトカインストームという状態に陥り、正常細胞で出来ている戦場を荒らしてしまいます。新型コロナで重症の肺炎になった状態です。

このように、免疫系は大変複雑で奥が深いです。免疫を強くするための基本は、十分な栄養と休息をとり、感染に備えること。抗体や細胞はタンパク質でできているのです。また、糖尿病などの基礎疾患があると、免疫が弱くなります。基礎疾患をお持ちの方は、しっかりコントロールしておくことも重要です。



新病院の内覧会を開催しました



平成30年10月より建築工事が開始し、約3年をかけて新しい病院が令和3年9月に完成し、同年8月30日に竣工式を行いました。

近隣の医療機関や調剤薬局等の皆様より胡蝶蘭・生花など、内覧会に花を添えて頂きありがとうございました。

当時はコロナ禍による緊急事態宣言中だったため、盛大な式典は控えておりました。

地域の皆様に信頼される医療を提供していくため、思いやりの心を大切に、安全・安心の医療・介護の提供に努めてまいります。

令和4年は正信会にとって節目になる年。初代理事長、水戸正美先生が糟屋郡に水戸診療所を開業して75年、法人設立して50年を迎えます。

地域に開かれたホームドクターとして、今後より一層地域医療に貢献をすべく職員一同努力してまいります。



基調講演



林田スマ様 元RKB毎日放送アナウンサー
まどかびあ男女平等推進センター アスカール 館長

内覧会后、林田スマ様をお迎えしての基調講演を行いました。大変ご多忙のなか、講師としてお話を頂きました。

病院で働く職員の姿勢や、患者さまへの接遇のサービス提供に役立つ内容で、大きな刺激を受けました。

今後も地域への貢献につなげられるよう励みになりました。



胡蝶蘭や生花により一段と華やかになりました



ご多忙のなかお越しいただき誠にありがとうございます



宮内衆議院議員もお越しいただきました



最新の内視鏡設備のご案内

気軽にできるお家ダイエット

～家の掃除をしながら運動不足を解消～

新型コロナウイルス感染症の感染拡大で、昨年の1年間は日常生活に大きな変化があった年でした。感染予防のため、不要不急の外出控えなどがあり、お家時間が多くなった方もいると思います。

年明けからのシーズン、新型コロナウイルス感染症のほか、インフルエンザなどの感染症もあり、気を緩むことができません。ただ、家にいる時間が多いと運動不足によって、体重が増えていたり、お腹に余計な脂肪がついたり、逆に身体機能の維持の面では良くないところもあります。今回は運動の代用として、家の掃除をしながらのダイエット方法をご紹介します。



掃除機やモップ掛けで運動

掃除機やモップ、ほうきといった用具は、掃除用の道具ですが、これも運動として代用できます。ソファやテーブルなど、掃除をするときに動かしたりすることあると思いますが、物を動かす際に、自分自身でも足腰の動きを意識しながら動くことで、太ももやヒップアップを狙うような運動ができます。掃除機をかけるときも、何気なくするのではなく、姿勢をまっすぐ(胸を張り、腹筋とお尻に力を入れる)するように意識することで、筋力維持に有効といえます。



掃除機や雑巾がけで運動

掃除機やモップ、ほうきといった用具は、掃除用の道具ですが、これも運動として代用できます。ソファやテーブルなど、掃除をするときに動かしたりすることあると思いますが、物を動かす際に、自分自身でも足腰の動きを意識しながら動くことで、太ももやヒップアップを狙うような運動ができます。



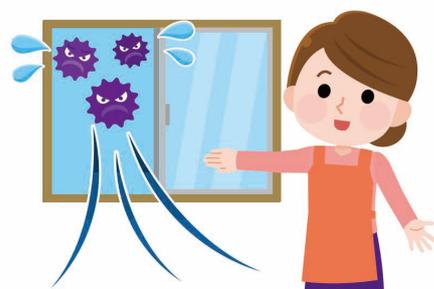
また、雑巾がけも全身の有酸素運動になります。体温も上がるので、代謝向上もあり効果があります。窓拭きは、普段しないものかもしれませんが、背中を鍛えたり、肩こりや腰痛予防の効果が期待できます。要するに、普段動かさない背中回りの運動ができることです。



掃除といえば、年末の大掃除を思い浮かべるものだと思います。普段、お仕事などで平日疲れを取りたいから、休日はゆっくりとお休みしたい方にとっては、日常生活での掃除は難しいと思います。

コロナ禍で引き籠ってしまうというネガティブな気持ちになってしまいますが、家にいる時間を使って、お風呂やトイレ掃除、天井や窓拭きなど、1か所ずつでも行っていくことで、家をキレイに保つことと体を動かすことによる健康維持と一石二鳥になります。



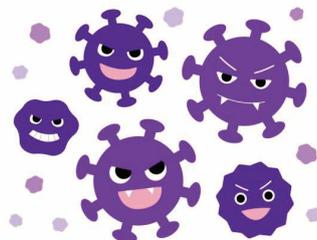


冬場の密閉空間の換気方法 ～コロナ禍だからこそその換気の改善～

昨年は新型コロナウイルスの感染拡大で緊急事態宣言の発出や解除の繰り返して、日常生活においても大きな変化があった年ではなかったでしょうか。ただ、季節を問わず、新型コロナウイルスによる感染予防対策のなか、こまめな換気が重要です。

■ 冬シーズンのウイルス対策は換気がポイント

2021年は新型コロナウイルス感染症(以下「新型コロナ」)で、私たちの生活に大きな変化や不安をもたらしました。自宅や職場、飲食店、職場など、人が長く滞在する環境は多々ありますが、どんな場所でも感染対策には特に注意する必要があります。



新型コロナも変異株の発生で、今後どのようなようになるか予測が難しいですが、その他にインフルエンザやノロウイルスといったウイルスも浮遊しています。換気されていない環境下では溜まってしまい、感染の原因になる恐れがあります。

■ 冬場の窓開け換気はどうすればいい?

冬の寒いときに換気が必要であっても、せっかく温まった部屋がまた冷えるしまうため、躊躇してしまいます。室内のよどんだ空気を循環(換気)することで、ウイルスの感染リスクを抑える意味で効果的です。冬の乾燥した時期での換気方法は、以下のポイントになります。

ポイント① 部屋の換気は1時間に2回のペースで

冬に換気は1時間に2回(1回につき約5分)の頻度でも問題ありません。たった5分の換気でも、冬場の風は夏と比べて勢いが強く、5分程度で空気の循環を促します。

ポイント② エアコンの暖房のタイミングは?

換気する時間をあらかじめ決めておきましょう。エアコンのタイマー機能を活用し、部屋を暖めておいて換気を実施することをおすすめします。

ポイント③ 加湿器を置く場所はエアコンの向かい側へ

冬と言えば乾燥する時期。ウイルスなど風に乗って飛散しやすくなります。エアコンの下に加湿器を置いてしまうと、気流がぶつかり合って暖房効果が低減します。加湿器はエアコンがついている壁の向かい側を背にしておきましょう。

ポイント④ 空気の通り道を作って、換気効率アップ

換気するときは、部屋の窓など2か所開けることです。開ける窓も対角線上に位置する場所に窓を開け、空気の通り道を作ってあげることが大切です。もし、窓が1か所しかない部屋であれば、開けた窓に向けて扇風機やサーキュレーターを置くことをおすすめします。



新型コロナのほか、インフルエンザの流行と非常に不安な時期に入りますが、一人ひとりが感染予防対策として、アルコール手指消毒や空気の循環(換気)などを行うことで、感染リスクを抑える効果が期待できます。

エアコンや加湿器、窓の開閉などポイントを押さえておくことで、冬のシーズンも安心して過ごすことができます。是非ご活用ください。

防災士が伝えたい! 防災・減災特集

突然起こる災害に対して、普段どのように思っていますか。
もしもに備えて身の守り方やその術を覚えておきましょう。

「大丈夫だろう」と 思っていないませんか?

総務課 伊藤康晴

平成23年11月に起こった東日本大震災を機に、災害に対する意識が大きく広まっていきました。あの日からすでに11年も経過しましたが、日本各地で毎年、地震や集中豪雨といった災害は必ず発生しています。私は防災士*を令和元年11月に資格取得をしました。

“防災”と聞くとイメージを大きく持たれると思いますが、要は普段から防災に対する心構え(備え)をすることです。自然災害に対してヒトは非力ですが、突然災害に遭っても、被害をいかに減らせるかがとても重要です。生活圏内で危ない場所がないか、作中に被災したときなど、いろんな場面が想定されます。この特集では個人に向けての備えの一助につながればと思い、4回に分けて防災・減災に対してご紹介いたします。



シリーズ①「住まいの防災・減災」

災害といっても、大雨や地震、土砂災害、火山の噴火などの種類があり、それぞれに対する対応をしなければいけません。私が伝えたいのはシンプルに以下のことを覚えてもらうだけでも、いざというときにお役に立つと考えます。

自分で考え行動を

緊急地震速報や土砂災害警報などが発表されたら、まずは自分の身を守る行動をとることです。特に地震は発生中、何もできません。発生後は正確な情報を得て、周りの方との協力して助け合いましょう。共助は地域や周囲の方とのつながりが必要不可欠です。

支援が来るのは3日後

例として、地震発生後の救援物資が届くのは一般的に3日後。公助が動き出すまでの間は、自分たちで凌いでいかなければなりません。非常食のほか、普段気づきにくい点ではトイレやゴミ処理。あらかじめ知恵を蓄えておくことも大切です。

助け合う心を

大規模災害は消防車や救急車は救助のため、手が回らなくなります。近所の方や地域の方と協力して助け合うことで、助かる命があります。顔見知りであれば、もしもの時でも、いち早く把握でき、互いに声を掛け合いながら行動できます。

わざわざすることでなく、普段から意識することです。例として、家の片付けを常にしておく、生活でも快適になりますし、災害時でも障害物の発生を減らすことにつながります。

防災は特別な準備をすることではなく、もしものためのリスク低減を図るような想像することが大切です。

*防災士・・・NPO法人日本防災士機構の認定資格で全国に約20万人。(令和3年12月現在)
災害に関する知識を持ち、行政や地域と協力して防災訓練などの活動しています。

次号は「身近でできる防災対策」です

寄り道で見つけたスポット

みちくさ

今回みちくさでおすすするスポットは、須恵町を一望できる皿山公園をご紹介します。皿山公園は、若杉山の麓にある、公園で春はつつじが見事なことで有名ですが、それ以外の季節にも初夏には紫陽花や菖蒲、秋には山の紅葉など季節の移り変わりを楽しむことができます。

公園内には歴史民俗資料館もあり、須恵町の名前の由来となった須恵器についての展示があります。園内駐車場には蒸気機関車も展示されており、間近で見れます。また、公園には小さな動物園もあり、孔雀やにわとりが飼育されています。須恵町の福祉センターのコミュニティバス(一番田~上須恵線)もありますのでぜひご利用ください。



皿山公園(須恵町)
糟屋郡須恵町大字上須恵21-3
☎092-932-1151(須恵町役場)



かかりつけ医とは？

かかりつけ医という言葉は、聞き慣れていると思われます。これは日頃から患者さまの病歴や健康状態などを把握し、治療のほか、健康管理上のアドバイスなどもしてくれる、身近で頼りになる地域の病院やクリニックの医師のことです。

患者さまの状態を詳しく把握しているため、いざというときも適切な判断をし、必要があれば専門的な医療が受けられる医療機関を紹介するなど私たちの生活や健康をサポートする頼もしい存在です。



かかりつけ医のメリットとは？

かかりつけ医をもつことで、以下のようなメリットがあります。もしもに備えてもつことをお勧めします。

- ①日頃の健康状態を知ってもらえる
- ②病気の予防や早期発見・早期治療につながる
- ③症状に応じて専門医への紹介がスムーズ

Q どのようにして選ぶの？

患者さまご自身で選択できます。ご自分が信頼できると思った医師であれば、かかりつけ医と呼んで構いません。



Q 選ぶのは1人だけ？

かかりつけ医は1人に限りません。例えば、内科のほかにもリハビリや耳鼻咽喉科など通院している場合は、その診療科医もかかりつけ医といえます。

Q かかりつけ医を変更することはできる？

変更できます。その際は、紹介状や診療記録(カルテ)の写しを提供してもらうことで、これまでの治療経過などを、次の医療機関に変わった後もスムーズに治療を受けられます。

かかりつけ医は、地域に密着した診療医です。皆さまが生活する地域で、お子様やご家族、働いている方々の健康管理をみる医師、また在宅療養が必要な方のための訪問診療など、身近な存在です。

ご自身の健康を維持していくことが大切なことです。長寿社会のなかで、健康で健やかに過ごしていくためにも、かかりつけ医は持つようにしましょう。

かかりつけ医以外での選択肢は？

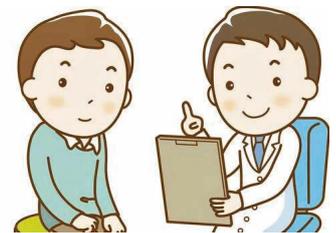
●治療方針で悩んだとき

病気やケガの治療はいくつかの方法がありますが、主治医以外の他の医師の意見を参考にしたい場合は、「セカンドオピニオン」を利用して、治療方針を相談することができます。

セカンドオピニオンとは、患者ご自身の病状や治療についての選択するために、主治医以外の意見を聞くという方法で、主治医を変更したりすることではありません。

セカンドオピニオンを利用する際は、事前に主治医(かかりつけ医)に相談し、診療情報提供書や検査結果など必要な情報を提供してもらいましょう。

場合によっては、今後の治療方針で選択肢が増えることがあります。最終的には患者さまご自身(ご家族)が決める必要があります。



●体調に変化を感じたら、まずはかかりつけ医に相談を

かかりつけ医は、あなたの身体状態を把握しているため、もし必要があれば専門の医療機関へ紹介・案内するといった判断があります。

例えば、「呼吸が息苦しい」「頭がズキズキと痛む」といった場合、数日くらい安静にしていれば治ることもありますが、もしかしたら呼吸器系の病気や脳出血といったことも考えられます。

かかりつけ医でなければ、普段の状態を把握していないため、色んな検査を受けるなどして判断する時間を要しますが、かかりつけ医であれば、状態も含めて必要な専門医や高度医療を受けられる病院を紹介し、適切な治療を受けることができます。

自宅や職場から近く、
しっかりとコミュニケーションが
取れる医師を選びましょう。



「訪問看護になって」



あすなる訪問看護ステーション

看護師 宗村 美智香

私は小さい頃、テレビで病院もない離島の家を訪問する保健師さんの姿を見て、大変だけど医療を届ける素敵な仕事だなと思いました。これをきっかけに看護師の憧れを持ち、看護の道へと進みました。

看護師になり、友人がしていた訪問看護の仕事をやってみたいと思いました。訪問先のご自宅や施設では、色々な疾患を持った方が、住み慣れた場所で生活されていて、先生が出される指示がきちんと守られているか、生活面での様子など、その方に必要な援助を行っています。自宅やご家族や可愛いペットが近くにいる、その方の大事にしている生活スタイルが詰まっています。そこでは治療以外のいろんな出来事もあります。

話に耳を傾けるとその方を取り巻く様子が見えてきます。問題や不安の軽減になったり、看護にも繋がります。人生最後の時を家で過ごしたいと自宅に戻られる方に、ご家族も含め穏やかな時間を過ごせるようにと、在宅チームやあすなる訪問看護ステーションの看護スタッフの間で話し合いをしていきます。利用者の方の求めるものに少しでも近づけたときには、やっていてよかったと感じます。日々の利用者との関わりを大切にしながら、看護師としての知識や技術をさらに向上させ、思いに寄り添った看護が提供できるような看護師になれるよう頑張っています。

これからも一期一会を大切に、利用者の方とのかかわりを大切にしながら、看護師としての知識やスキルを向上させ、思いに寄り添っていけるように心磨きをしていきたいです。



冬の節電

新年を迎え、気持ち新たに新しい年の生活を送っていきな、まだまだ寒い日が続いていきます。昨年9月から電気やガス料金の値上がりもありました。私たちの生活で欠かすことができない電気について、いかに節電をしていけるか、すぐにでもできる防寒対策をご紹介します。

家族団らん	家族が1か所に集まれば、暖房や照明も1か所で済みます。さらに鍋料理等を囲めば、暖房いらず。鍋物は体もぼかぼか、さらに鍋から湯気が出て、加湿器いらずでまさに一石二鳥です。
空気の循環	暖かい空気は軽く、上昇していく傾向があります。エアコンから出る温風も天井付近に滞留して、人がいる空間はそれほど暖まらないもの。サーキュレーター等で空気の循環や換気もしてくことが大切です。
頭寒足熱	首を温めると寒さを感じにくいもの。首や足元・足首を温めることで血流がよくなり、体全体が温まります。

新型コロナやインフルエンザなど、感染症に対する予防で、3密(密閉・密集・密接)を避けることが大切です。家族団らんで家で過ごすことは今のご時世、大変難しいことですが、感染防止を第一にお過ごしください。



外来診療担当医のご案内

令和3年11月1日～

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前 9:00 ～ 12:00	内科第1診察室	吉松 卓也	富安 幸博	増田 住博	富安 幸博	白橋 斉	吉松 卓也
	内科第2診察室	藏元 ^{たかこ} 誠子	猪野 祥史	[循環器内科] 吉松 卓也	猪野 祥史	富安 幸博	小田 太士 ^{※第1-3} 王寺 裕 ^{※第2-4-5}
	第3診察室	[九大循環器内科] 森山 祥平	[九大神経内科] 岡留 敏樹	河野 理子	[リハビリテーション科] (整形外科医師) 小牧 ゆか	野波 篤 ^{※第1-3}	渡邊 豊吉
	消化器検査	白橋 由美子 (白橋 斉)	藏元 ^{たかこ} 誠子 (白橋 由美子)	白橋 斉 王寺 裕 ^{※第1-3-5} 白橋 由美子 ^{※第2-4}	和田 将史	王寺 裕 (藏元 ^{たかこ} 誠子)	白橋 斉
	小児科	藤原 崇・因てい子	因 てい子	藤原 崇	藤原 崇	藤原 崇	藤原 崇
	健診	富安 幸博	岩佐 一弘	白橋 由美子 ^{※第1-5} 猪野 祥史 ^{※第2-4}	藏元 ^{たかこ} 誠子 ^{※第1} 白橋 斉 ^{※第2-5}	白橋 由美子	藏元 ^{たかこ} 誠子 ^{※第1-3-5} 猪野 祥史 ^{※第2-4}
午後 13:30 ～ 17:00	内科第1診察室	白橋 斉	王寺 裕	藏元 ^{たかこ} 誠子	休 診	王寺 裕	休 診
	内科第2診察室	猪野 祥史		河野 理子			
	第3診察室						
	小児科	藤原 崇・因てい子	藤原 崇・因てい子	藤原 崇・因てい子			
17:00以降		当院医師または大学医師による交替制 (外来診療は平日19:00迄、土曜日は17:00迄。但し急患はこの限りではありません。)					

● 午前の健診や検査の担当医は、外来診療には入りません。 ● 都合により担当医が変更になる場合がありますのでお問い合わせください。

医師が訪問診療します 24時間365日対応

水戸病院では通院が困難な方のご自宅や施設へ医師、看護師が訪問を行っています。
ご利用を希望の方は当院までお問い合わせください。



施設のご案内

■ 正信会水戸病院 TEL(092)935-3755 / FAX(092)935-6626

〒811-2298 福岡県粕屋郡須恵町大字旅石115-483 (須恵高校前・新生バス停前)

URL <https://www.s-mito.org> E-mail info@s-mito.org



診療時間

月曜日・火曜日・水曜日・金曜日 / 9:00～19:00

木曜日・土曜日 / 9:00～12:00

木曜日・土曜日の午後、日曜日・祝祭日 / 休診

(急患はこの限りではありません)

介護医療院 ■ 水戸病院 介護医療院 TEL(092)935-3755 FAX(092)935-6626

介護老人保健施設 ■ ニューライフ須恵 TEL(092)937-1055 FAX(092)931-8695

訪問看護 ■ あすなる訪問看護ステーション
TEL(092)936-9653 FAX(092)936-9655

福祉用具貸与・販売事業所 ■ 介護ショップ よりそい TEL(092)957-7294 FAX(092)957-7295

健康診断・人間ドック ■ 水戸病院 健診センター TEL(092)935-3799

通所リハビリテーション ■ 水戸病院 通所リハビリテーション TEL(092)410-2003

居宅介護支援事業所 ■ ケアワイド21 TEL(092)957-3321 FAX(092)957-3322

訪問介護事業所 ■ あすなるヘルパーステーション TEL(092)935-3896

住宅型有料老人ホーム ■ コンフォート須恵 TEL(092)935-3850 FAX(092)935-3851

通所介護事業所 ■ コンフォート須恵デイサービスセンター TEL(092)935-4150

■ 発行:医療法人社団正信会 理事長 増田住博 ■ 編集:水戸病院 広報企画委員会 ■ 印刷:(有)清原印刷

(注)「水戸病院だより」に掲載しております患者さまの顔写真等につきましては、御本人・御家族さまの了解を得ております。